

林業試験場九州支場実験林のきのこ(1)

林業試験場九州支場 久保田 暢 子
安 藤 正 武

1 はじめに

当支場実験林に発生する担子菌類ハラタケ目のきのこについて、昭和50～57年にかけて行なった調査結果を報告する。なお本調査実施にあたり同定その他種々の御指導を賜った滋賀大学教授本郷次雄博士、ならびに調査地の植生、土壌について貴重な御助言を頂いた当支場造林第2研究室長埜田宏技官および土壌研究室長堀田庸技官に厚く御礼申上げる。

2 調査地の概況

実験林は、熊本市の北東部に位置する立田山の西側斜面を占め、面積約30ha。立田山は以前は豊かな広葉樹林で、その中に混在するマツ林にはマツタケが発生するといわれるほどの森林であったが、昭和30年頃までにはほとんど伐採され、現在は試験林を除きコジイを主とした二次林となっている。この調査の対象となったコジイ林は、植生としては九州北部内陸の代表的コジイ林とみなすことができ、林令約30～40年、コナラ、アラカシ、ナラガシワ、クヌギなどが混交し、林内には、クチナシ、ヤブコウジ、シャシャンボ、ナナムノキ、ボロボロノキ、オオカグマなどが多い。土壌は安山岩を母岩とするやや乾燥気味の褐色森林土、植質で山腹上部はB_C型、中下部はB_D(d)～B_D型。

本地区は風致地区および生活環境保全林に指定されており、下刈り、除伐など手入れは良好で、遊歩道が整備され入山者は極めて多い。

3 調査結果

これまでに確認されたものは14科、41属、151種で、チャヒラタケ科およびヒダハタケ科のものは未採集、ヌメリガサ科については未同定のもの2種が得られたのみであった(表-1)。しかし現在のところキシメジ科のモリノカレバタケ連以下のグループなど小形の種類についての調査が不十分であり、また未同定のものもかなりあるので、今後の調査によりこの種類数はまだ相当増加するものと考えられる。科別にみるとテングタケ科、イグチ科、ペニタケ科のものが種類数、発生量いずれも多く、これらの菌根のよく発達した典型的コジイ林であることを示した。なお採集した

表-1 林業試験場九州支場実験林に発生した担子菌類ハラタケ目の属および種類

		(属)	(種)
Hygrophoraceae	ヌメリガサ科	未同定	2種
Tricholomataceae	キシメジ科	11	21
Pleurotaceae	ヒラタケ科	2	3
Amanitaceae	テングタケ科	1	25
Pluteaceae	ウラベニガサ科	1	3
Agaricaceae	ハラタケ科	2	8
Coprinaceae	ヒトヨタケ科	2	5
Bolbitiaceae	オキナタケ科	2	3
Strophariaceae	モエギタケ科	1	1
Cortinariaceae	フウセンタケ科	3	8
Crepidotaceae	チャヒラタケ科	—	—
Rhodophyllaceae	イッポンキシメジ科	1	2
Paxillaceae	ヒダハタケ科	—	—
Gomphidiaceae	クギタケ科	1	1
Boletaceae	イグチ科	8	24
Strobilomycetaceae	オニイグチ科	4	7
Russulaceae	ペニタケ科	2	40
		41	151

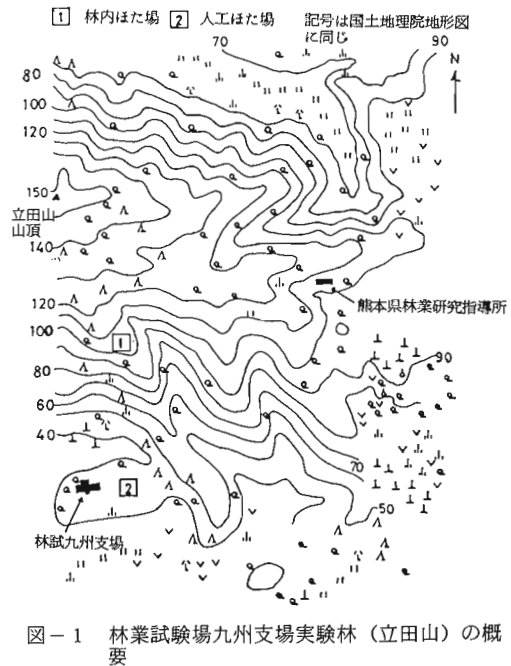


図-1 林業試験場九州支場実験林(立田山)の概要

資料は真空凍結乾燥標本とし、防湿性プラスチックの袋に密封して保存している。

ものや、あるいは熱帯～亜熱帯性、発光性のものなど分布上興味ある種類はみとめられなかった。

キシメジ科

採集された種類、発生量いずれも少なく、モミタケ連 *Biannularieae* , シジミタケ連 *Resupinateae* , ワサビタケ連 *Panelleae* , クヌギタケ連 *Myceneae* , エノキタケ連 *Pseudohiatuleae* , ホシアンズタケ連 *Rhodoteae* に属するものについては確認するにいたらなかった(表-2)。

発生時期は主として6月ないし10月。腐生性または材腐性のものが多く、キシメジ属など菌根性大形食用の

参考文献

- (1) 今関六也・本郷次雄：原色日本菌類図鑑，保育社
- (2) ———・—————：統 〃 〃
- (3) ———・—————・椿啓介：菌類(きのこ・かび) 標本原色図鑑全集14，保育社
- (4) 本郷次雄：きのこ講話(5)・(6)熊本きのこ会
- (5) R. Singer：The Agaricales in Modern Taxonomy, J. Cramer, 1975

表-2 林業試験場九州支場実験林に発生した担子菌類ハラタケ目キシメジ科・Tricholomataceae の種と発生時期(分類は Singer・1975 の分類方式に準拠)

Tricholomataceae キシメジ科		発 生 時 期									
		Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.	
Lyophylleae シメジ連(族)											
<i>Lyophyllum decastes</i> (Fr.) Sing.	ハタケシメジ									○	○
Clitocybeae カヤタケ連											
<i>Laccaria amethystina</i> (Hooker) Murr.	ウラムラサキ			○					○		
<i>L. laccata</i> (Fr.) Berk. & Br.	キツネタケ			○							
<i>L. vinaceoavellanea</i> Hongo	カレバキツネタケ			○	○						
<i>Clitocybe fragrans</i> (Fr.) Kummer	コカブイヌシメジ			○							
<i>Lepista nuda</i> (Fr.) Cke.	ムラサキシメジ							○	○	○	○
<i>L. sordida</i> (Fr.) Sing.	コムラサキシメジ							○	○	○	
<i>Tricholomopsis rutilans</i> (Fr.) Sing.	サマツモドキ							○	○		
<i>Armillariella tabescens</i> (Fr.) Sing.	ナラタケモドキ							○	○		
<i>A. mellea</i> (Fr.) Karst.	ナラタケ								○		
Leucopaxilleae オオイチョウタケ連											
<i>Melanoleuca melaleuca</i> (Fr.) Murr.	コザラミノシメジ	○	○						○		
Collybieae モリノカレバタケ連											
<i>Pleurocybella porrigens</i> (Fr.) Sing.	スギヒラタケ		○								
<i>Collybia butyracea</i> (Fr.) Quel.	エセオリミキ			○							
<i>C. dryophila</i> (Fr.) Kummer	モリノカレバタケ			○							
<i>C. peronata</i> (Fr.) Kummer	ワサビカレバタケ			○							
<i>C. confluens</i> (Fr.) Kummer	アマタケ		○	○		○					
Marasmiaceae ホウライタケ連											
<i>Oudemansiella longipes</i> (St. Amans) Moser	ピロードツエタケ			○							
<i>O. radicata</i> (Fr.) Sing.	ツエタケ					○			○		
<i>Marasmius siccus</i> (Schw.) Fr.	ハリガネオチバタケ			○							
<i>M. oreades</i> (Fr.) Fr.	シバフタケ		○		○						
<i>Crinipellis stipitaria</i> (Fr.) Pat.	ニセホウライタケ		○	○							